

【ご紹介】パブリックコメント：防火設備の告示改正案について

防火設備の構造方法を定める件及び特定防火設備の構造方法を定める件

H30年12月に国土交通省より【防火設備の構造方法を定める件（平成12年建設省告示第1360号）】について、告示改正案に関するパブリックコメント(締切済み)が出されました。これらの内容が認められれば、現行の告示に対して下記の仕様が新たに追加される予定です。

●追加仕様(案)の一部

規定内容	鉄枠 (新第5号ロ)	アルミ枠 (新第6号)	防火被覆 アルミ樹脂枠 (新第6号)	樹脂枠 (新第7号)	木枠 (新第8号)
開閉形式	はめごろし戸 ※網入りの場合のみ全ての開閉形式		はめごろし戸		
ガラスの種類 <ul style="list-style-type: none"> ○耐熱強化ガラス <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ6.5mm以上 ・エッジ強度250MPa以上 ○耐熱結晶化ガラス <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ5mm以上 ○低放射(Low-E)ガラス <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ5mm以上 ・垂直放射率0.03~0.07 	<ul style="list-style-type: none"> ・網入り板ガラス ・耐熱強化ガラス ・耐熱結晶化ガラス ・複層ガラス <ul style="list-style-type: none"> 網入り板ガラスを用いたもの 又は 屋外側：耐熱強化ガラス 又は耐熱結晶化ガラス 屋内側：低放射(Low-E)ガラス 	<ul style="list-style-type: none"> ・網入り板ガラス ・耐熱結晶化ガラス ・複層ガラス <ul style="list-style-type: none"> 屋外側：網入りガラス 又は耐熱結晶化ガラス 屋内側： 低放射(Low-E)ガラス 	<ul style="list-style-type: none"> ・複層ガラス <ul style="list-style-type: none"> 屋外側：網入り板ガラス 屋内側：低放射(Low-E)ガラス 		
開口部の寸法(幅×高さ) ※複層ガラスの場合は屋外側のガラスの種類	<ul style="list-style-type: none"> ・耐熱強化ガラスの場合 700mm~1200mm×850mm~2400mm ・耐熱結晶化ガラスの場合 1000mm~1200mm×1600mm~2400mm 	<ul style="list-style-type: none"> ・網入り板ガラスの場合 800mm以下×2250mm以下 ・耐熱結晶化ガラスの場合 780mm~920mm ×1100mm~1890mm 	800mm以下 ×1400mm以下	1050mm以下 ×1550mm以下	
そのほか (ガラスの取り付け寸法など)					

表はパブリックコメントに記載されている追加仕様(案)の一部を記載しておりますので、詳細については電子政府の総合窓口(e-Gov)※を参照ください。

※URL：<https://search.e-gov.go.jp/servlet/Public> (「防火設備の構造方法を定める件」で検索してください)

【開催報告】GBRC業務説明会「池田事業所に新設した防耐火試験装置のご紹介」

昨年12月14日(金)に、当法人で防耐火構造の大臣認定を取得された経験のある方を対象に、池田事業所に新設された“柱炉”および“水平炉”の設備に関する業務説明会を開催しました。

当日は“柱炉”“水平炉”の仕様について、多数の参加者に説明を行うとともに施設見学をしていただきましたが、本報にて試験炉の仕様について、改めてご紹介いたします。



柱 炉 仕 様

炉サイズ：吹田の試験炉と同じ
【内寸：W2.5m×L2.5m×H3.4m】

最大試験荷重：10MN

小規模荷重に対応したアタッチメントを導入
→小規模荷重に対する荷重安定性を向上



水 平 炉 仕 様

炉サイズ：性能評価機関最大サイズ
【内寸：W3.0m×L10.0m×H2.0m】

最大試験荷重：梁：1000kN(1線500kN), 床：1線200kN

バーナー：フラットプレートバーナーを36台(片側18台)導入
→炎を拡散噴出するため、局所的な加熱が行われない

試験品質向上のため、柱炉では「載荷用アタッチメント」、水平炉では「フラットプレートバーナー」の導入を行いました。

【当法人HPの耐火構造・防火材料試験設備紹介ページ：http://www.gbrc.or.jp/test_research/fire/fire01/】

【お知らせ】講習会等のご案内

2019年1月～5月に下記の講習会等が開催される予定です。
ご興味のある方は是非ご参加いただければと存じます。

【水害と火災～『浸水火災』にどう備えるか】

- ・主催：日本火災学会
- ・日時：2019年1月31日(木) 13時～
- ・場所：文京シビックセンター
- ・詳細：<http://www.jafse.org/archives/2018/12/h30.html>

【建築火災安全設計の考え方と基礎知識】

- ・主催：日本建築学会 防火委員会
- ・日時：2019年3月13日(水) 13時～
- ・場所：建築会館ホール
- ・詳細：

http://www.aij.or.jp/jpn/symposium/2019/20190313_d.pdf

【2019年度日本火災学会研究発表会】

- ・主催：日本火災学会
- ・日時：2019年5月25日(土)、26日(日)
- ・場所：早稲田大学 西早稲田キャンパス

【編集後記】

新年明けましておめでとうございます。年末に池田事業所から意外と近い有馬温泉に日帰りで旅行し、心身ともにリフレッシュしてきました。皆様は年末年始の休暇はいかがでしたでしょうか。さて、12月に完成した新柱炉及び水平炉が1月から本格稼働を開始しています。新設炉を用いて皆様のご要望にお応えできるよう、一層試験業務に励んで参りますので、本年もGBRCを宜しく願ひ致します。

【スケジュール】性能評価委員会

2019年2月から2019年6月の防耐火関係の委員会開催日程（予定）は下表のとおりです。GBRCのホームページでもご確認いただけます。

	2月	3月	4月	5月	6月
防耐火構造部材 性能評価委員会	13日 27日	13日 27日	10日 24日	8日 22日	12日 26日
防火材料 性能評価委員会	27日	27日	未定	未定	未定

【認定情報】大臣認定期間

2019年1月現在、大臣申請から約1.0ヶ月後に認定書が交付されています。

大臣申請については『GBRCによる代理申請』又は『自社申請』が選択できます。



■代理申請：

お客様に代わって、大臣認定の申請に精通したGBRC職員が、申請時の説明や申請後の国交省からの問合せ等に対応いたします。
交通費等負担金として、1件あたり、1万5千円を頂戴します。

■自社申請：

お客様が自ら申請を行います。
申請後、認定書が交付されましたら下記担当者までご一報ください。

発行者：一般財団法人 日本建築総合試験所
建築確認評定センター 性能評定課(池田事業所)
担当：豊田、門岡、松田(防耐火構造、防火設備)
高山、正木(防火材料、飛び火)
TEL:072(768)8201 FAX:072(768)8215
E-mail:seinou2@gbrc.or.jp